

2024年9月9日

株式会社三菱UFJ銀行

株式会社ツムラと同社中華人民共和国法人の製造事業拡大に向けた融資を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下「当行」）は、株式会社ツムラ（代表取締役社長 CEO 加藤 照和^{かとう てるかず}、以下「ツムラ」）との間で、中華人民共和国（以下「中国」）への投資計画に基づき、株式会社国際協力銀行（代表取締役総裁 林 信光^{はやし のぶみつ}、以下「JBIC」）及び株式会社三井住友銀行との協調融資の契約を締結いたしました。

本件は、ツムラの中国法人である天津津村製薬有限公司が保有する天津工場への投資を資金使途としており、漢方製剤の製造に不可欠な中間製品であるエキス粉末¹の生産能力増強を実現させることを目的としております。

ツムラは日本の医療用漢方製剤市場において高いシェアを有しており、第1期中期経営計画（2022年度～2024年度）において、今後の需要伸長に伴う販売拡大に向けた成長投資を行う方針を掲げております。同社は天津工場増設により、エキス粉末の製造能力のさらなる強化を通じ生産能力の増強をめざしてしております。本融資は、日本の医薬品メーカーのサプライチェーン強靱化を通じて、日本での漢方製剤の安定供給に寄与するものです。

当行は、日本の環境社会問題の解決に資する手法として、日本企業の持続的な発展の実現に一層貢献してまいります。

【本契約の概要】

ローン契約締結日	2024年8月26日
ファイナンス金額	約143億円

1 漢方製剤の原料である生薬から成分を抽出した液を分離・濃縮した上で、乾燥させ粉状にしたものを指します。